

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第72号

2022年11月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集



多様な市民・NPO活動が、安心して安全な社会を支えています!!

～「誰ひとり取り残さない」、
「共奏」の街づくり～



こおりやま広域圏で市民活動に取り組む
多様な市民活動団体の皆さんに、会
の立ち上げや活動の広がりなどのお話
を聞きました♪



NPO法人あだたら青い空

写真提供：NPO 法人あだたら青い空 (二本松市)

須賀川市の防災を考える会

写真提供：須賀川市の防災を考える会 (須賀川市)



写真提供：NPO 法人アニボウ



NPO 法人アニボウ (郡山市)



チャイルドラインこおりやま

写真提供：チャイルドラインこおりやま (郡山市)



須賀川市

須賀川市の防災を考える会 会長 水野 榮さん

任意団体 須賀川市の防災を考える会

水野さん 東日本大震災をきっかけに、地域の防災意識の向上を目指して何か活動をしなればならないと考え、須賀川市での防災士の第1号となりました。

近年、「防災・減災」は持続可能なまちづくりを行う上で、重要な位置づけとなっています。須賀川市では、5年前から、地域の防災リーダーの育成を目的に、防災士資格取得補助金制度による防災士の資格取得に要する費用の補助事業が行われています。

こうした行政の動きと合わせて、資格を取得した皆さんと会をつくり、町内会や市民に向けた防災講座を行ってきました。

そうした中、2019年に発生した東日本台風により、阿武隈川の氾濫で私自身の家も



床上70センチの浸水被害にあいました。この2年間は、コロナ禍で対面の講座の実施を見送ってきたのですが、今年から、資格試験対策講座を2か月に一度開催し、増えた資格取得希望者の後押しを始めました。防災士が増えることで、地域の様々なコミュニティや場所での防災意識の醸成が図られると考えています。

また、防災士の活躍の場を増やすために、地域の様々な組織・団体に声をかけ、防災講座を開催し、講師となって防災意識の大切さを伝えることのできる人材の育成のための取り組みを始めています。

今後も、各地域での防災訓練への会員の派遣を行いながら、一人でも多くの防災士の誕生を後押しすることを継続して参ります。そして、市民の皆さんへ防災の大切さを伝えることで、安心して暮らせる地域に変えていくために活動して参ります。

紹介ページ
(須賀川市)



NPO 法人 NPO法人あだたら青い空

佐藤さん 私は、福島県川俣町で生まれ、神奈川県私立高校で28年間教員をしていました。

活動のきっかけは、東日本大震災が発生し、故郷の福島県に何か出来ないか考え、浪江町の窓口を訪ねました。自分のできることを考えた結果、避難している皆さんと一緒に山歩きを企画し、皆さんと楽しい時間を持てるようにと活動をはじめました。

活動当初は、神奈川県から通っていましたが、2013年には、二本松市に移住し、不登校をはじめとした子どもの自立支援をめざすフリースクール青い空をはじめました。

活動を続けていくと様々なことに気が付きます。不登校の子供たちを受け入れ、子どもたちの気持ちを知り、現役の教師時代には、まったく考えなかったことがな



NPO 法人あだたら青い空 理事長 佐藤 昌弘さん



写真提供：NPO 法人あだたら青い空

私に、大きな学びとなりました。

こうした経験が、子どもたちと一緒に調理して食べる子ども食堂の開設につながり、新たな学びや新たな出会いなどのつながりを重ねながら活動し、2017年にNPO法人を設立しました。

活動当初から、ハイキングに参加してくださった浪江町の方々が、正会員として入会してくださり、NPO法の趣旨に沿った形で、参加者の活躍できる場をつくり、地域とつながる取り組みへとステップアップしながら、現在の正会員数は30名程になりました。

現在は、活動の内容も広がっています。子どもから高齢者までを対象に、様々な活動を行っています。

今後も、ボランティアの皆さんや参加いただく皆さんと一緒に楽しく笑いあえるNPOならではの活動を継続して参ります。

公式Web



郡山市



④ チャイルドラインこおりやま 理事長 大岡 桂子さん

大岡さん 「チャイルドライン」は、日本全国どこからでも無料でかけられる18歳までの子ども専用の電話として1998年に始まりました。福島県では、2010年に、多様な分野から人が集い「チャイルドラインを考える会」が立ち上がりました。翌年には東日本大震災が発生し、関係者は避難所をはじめとした支援活動などに加わりました。多忙を極める中、震災の影響で福島の子どものたちからの電話が急増していることなどを踏まえ、子どもたちへのフリーダイヤルカードの配布や、電話の受け手ボランティアの養成講座などの準備を進め、2012年に「チャイルドラインこおりやま」を立ち上げ活動を開始しました。私たちの活動は、養成講座を受講した



④ チャイルドラインこおりやま 理事 尾形 ゆり子さん

ボランティアにより支えられています。また、子どもたちが困ったときに気軽にチャイルドラインを利用してもらうために、定期的に県内の関係機関や教育機関に、子どもたちに配布していただくカードや広報用ポスターを送っています。今年の1月には、クラウドファンディングにチャレンジし、皆様の応援のおかげで、減少しつつある電話に変わる新たな「コミュニケーションツールの「オンラインチャット」を導入することが出来ました。尾形さん 今後は、子どもたちの声を聞き続けることはもちろんですが、地域で活躍する様々な市民活動団体とつながり、市民の皆様に向け、参加と協力を促す声を出していくかなばならないと感じています。私たちの活動は、地域の皆様にもっと応援してもらうことで、子どもの権利の周知や若者を地域で支える社会づくりに貢献していけると考えています。皆様の応援をいただけるよう頑張ります。

公式Web



NPO紹介 **NPO法人紹介コーナー NPO法人アニボウ**

郡山市



④ NPO法人アニボウ 代表理事 松崎 一さん

写真提供：NPO法人アニボウ

松崎さん 私は、日本のアニメーション制作の最前線で、フリーランスの立場で数多くの作品の脚本から絵コンテ、演出、原画、作画監督までの仕事に携わってきました。日本のアニメ業界では、以前から人材の育成が叫ばれてきましたが、近年の制作業務の大半が海外に流出している現状があります。故郷の郡山に制作アトリエを移し、業務を進める傍ら、10年ほど前から、無償で経験ゼロから教えるスタイルで作画スタッフを育成する試みを始めました。現在までに約100名程の方々が、私の元を訪ねてくださいました。様々な出会いの中で、心の病や様々な障がい、社会となじめない現状に悩みながら、彼らの社会と繋がりたいという想いに応えようと努力してきた日々でした。

一人では、この課題は解決できないと考え、一歩ずつ準備を進め、10月にNPO法人を設立しました。地域で活躍されている他分野の方々に正会員として入会いただき、ようやくスタートしたばかりです。NPO法人になることで、市民公益活動に取り組みする法人として、行政や企業等の様々な組織・機関の皆様との協働事業を進めていくことが出来ます。私たちの持つ、高い専門性を活かして、社会課題の解決に向けた取り組みにチャレンジしていきたいと考えています。すべての人が生きがいを感じ暮らしている社会づくりを目指して、一歩ずつ活動して参ります。

公式 Web



写真提供：NPO法人アニボウ



写真提供：NPO法人アニボウ



NPO法人を設立しませんか

設立相談について、随時受付中!

◆NPO法人も「売上(収入)」を上げることができます。

◆でも、ご心配なく。「売上(収入)」をどのように上げるのか、基本のキを解説します。

こんなお手伝いをしています。

- ①商品の販売、有料のサービスにはどんなものがあるのかを説明します。
- ②ボランティア活動は、すべてが無償ではありません。有償の事例を紹介します。
- ③給与、旅費、家賃、水道光熱費の支払い方法について、一緒に考えます。
※出前講座も実施しています。

相談無料/予約制

●多文化共生社会の実現

専門相談会

●SDGsの推進

●クラウドファンディング活用



相談テーマ: 多文化共生社会の実現

専門相談員

三田眞理子

11/29 火

12/20 火

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ: SDGsの推進

専門相談員

鷲谷 恭子

11/30 水

12/21 水

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ: クラウドファンディングの活用

専門相談員

中瀬 亮兵

11/24 木

12/22 木

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



町内会への出前講座



こんな出前講座が出来ます!

- ① 皆さんのご希望を伺って!
- ② ビックリの出前講座を作ります!

町内会を応援



町内会の皆さんの活動を応援するために「出前講座」をいたします!

LINE 講座も! お任せください!

問 郡山市市民活動サポートセンター

サポートセンター相談コーナー

ズバッと解決!



相談事例

活動するメンバーを増やしたい任意団体のご相談

- ①活動メンバー募集の動画を一緒に作成します。
- ②動画を広報するための方法をご案内し伴走します。
- ③広報企画についてのミニ講座を実施します。

その結果、理事会(役員会)で話し合い、新たに広報活動も行うことになり、会のメンバーで楽しみながら、企画をつくることになりました!

発行 郡山市市民活動サポートセンター (愛称: アシストパーク郡山)

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/

住所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク

郡山市自治会連合会の役員の皆様へ 「はじめてのZOOM体験講座」を開催しました!



郡山市市民活動サポートセンターでは、町内会の皆さんの活動を応援する出前講座を開催しています♪

郡山市役所 西庁舎 3 階



MAP

Web

Twitter

Facebook

